



## 新年のごあいさつ

一般社団法人 福井県トラック協会  
会長 清水 則 明

令和4年の新春を迎えるにあたり、謹んで年頭の御挨拶を申し上げます。

令和2年に続き、昨年も新型コロナウイルスの感染者は増減を繰り返し、国内外の社会に大きな影響を与え続けました。国内では、緊急事態宣言の発出やまん延防止等重点措置の適用が繰り返され、1年延期となった東京オリンピック・パラリンピックも、中止を求める声が高まる中、ほぼ無観客での開催を余儀なくされました。都市部はもとより本県においても飲食店等における感染防止対策や各種イベント等の開催制限、県民への県外往来自粛要請など厳しい措置がとられました。

一方で、拡大を防ぐためのワクチン接種は、国内では2月から始まり10月末までに総人口の7割を超える人が2回目の接種を完了し、その効果もあってか10月以降は新規感染者数が減少に転じましたが、新たな変異株が拡大しつつあり今後の状況は未だ見通せないところです。

このような中、国内景気はコロナ感染症による厳しい状況から徐々に緩和されつつあるものの、持ち直しの動きに弱さがみられ、今後の動向を注視していかなければなりません。

また、昨年は、年明け早々の1月7日から嶺北地方を中心とする記録的な大雪に見舞われ、主要幹線道路で大規模な車両滞留事案が発生しました。会員の皆様の事業所においても、滞留に巻き込まれたり運行計画に多大な支障を来すなど対応に苦慮されたことと思います。協会では、会員の皆様への情報提供に努めるとともに、福井県からの要請を受けて、長時間滞留している車両を支援するための緊急支援物資輸送や排雪のためのダンプトラックの手配に協力しました。さらに、国土交通省等が示した幹線道路の「予防的通行止め」や「同時通行止め」の慎重な運用や情報の迅速な提供等について緊急の申し入れを行ったほか、その後も、大雪等異常気象時の対応について、継続的に関係機関や荷主団体等に対して要望活動を行いました。

加えて、原油価格の高止まり等による燃料価格の高騰で経営が圧迫し、多くの事業者が苦境に立たされるなど、昨年は私たちトラック運送事業者にとって厳しい1年でありました。

このような状況において、協会が重点的に取り組んだ活動の一つが、「標準的な運賃」の普及促進です。トラックドライバーの労働条件の改善等を図るため貨物自動車運送事業法が改正され、一昨年4月に国土交通省から「標準的な運賃」が告示されました。トラック運送事業を持続可能なものとするためには、この「標準的な運賃」の活用を進めていくことが重要であり、そのためには、まず早期に届出をする必要があります。そこ

で協会では、巡回指導時や各種セミナー等を活用し、また、各支部にもお願いして制度の周知と届出の促進を図りました。それにより対象となる会員事業所の7割を超える届出となっています。本年も、引き続き届出率の向上と「標準的な運賃」の活用による適正な運賃・料金の収受を進めていかなければなりません。

2つ目は、労働力の確保です。

協会では、コロナ禍にあって活動に制約がある中、高校新卒者への対応として県内の高校生に対する業種説明会に参加し、運送業界の魅力をアピールしました。

また、業界のイメージアップを図るため「トラックの日」広報の一環として、青年部が中心となり福井県の協力を得て「はぴりゅうりポート トラックドライバーのとある1日」と題したお仕事体験動画を制作し、YouTubeなどのSNSで発信しています。

さらに、若者、女性、高齢者の運転免許、資格取得に対する助成の増額など、多様な人材の確保と定着に資する施策を継続して行っています。

本年も、若者や女性はもとより、各年代の方々が運送業界に興味を持ち、労働力確保につながっていくような取組みを進めていきたいと考えております。

次に、交通事故防止と飲酒運転の根絶です。

昨年は、国土交通省が策定した「事業用自動車総合安全プラン2025」の初年度に当たり、令和7年までに達成すべき目標値が定められました。それを受けて県ト協では、「交通・労働災害死亡事故0運動2021」を展開し、福井県車籍の事業用トラックが第一当事者となる交通事故死者と重傷者を年間5人以下に抑えることを目標とし、かつ、飲酒運転の根絶を目指して、交通事故防止対策に取り組みました。

しかしながら、重大事故が8件発生し、死者が3人、重傷者は6人となり、抑止目標の達成はかなわず、また、福井県車籍の事業用トラックによる業務中の飲酒事故が、1月と3月に相次いで発生するという極めて厳しい状況となりました。

協会では、これを重く受け止め、6月に緊急の「交通事故防止大会」を開催し、参加者の安全意識の向上を図りました。また、飲酒運転防止対策として会員事業所のドライバーをはじめ全従業員の方に「飲酒運転根絶に向けた宣誓書」に署名していただき、その写しを中部運輸局福井運輸支局と福井県警察本部に提出しております。

本年も、交通事故防止は最重要課題と捉え、ドライバー一人ひとりに至るまで、交通安全意識を高める活動を行ってまいります。

トラック運送業界は、依然として多くの課題を抱えておりますが、本年も、社会に貢献し、魅力あるトラック運送業界として評価されるよう、役職員一同最善を尽くして取り組んでまいりますので、当協会の事業運営に御理解・御協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びにあたり、皆々様の御健勝と御多幸を祈念申し上げます、新年の御挨拶と致します。